

ベトナム 2024 年上半期の経済指標

2024 年上半期が終わり、ベトナム統計総局が 6 ヶ月間の国の経済活動を総括するとともに、複数の専門家による分析が公表されています。

GDP 成長率は前年同期比 6.42%で、2020 年以降の上半期の成長率では 2022 年に次いで高い数値を記録しました。そのうち農林水産部門は 3.38%、工業・建設部門は 7.51%、サービス部門は 6.64%の成長を示しました。特に工業・建設部門のうち製造・加工業 8.67%、建設業 7.34%（2020 年以降の上半期成長率としては最高値）は、経済全体の成長エンジンとして GDP の成長に大きく貢献しています。サービス部門では、世界の消費者需要の回復基調に合わせて輸出が急増し、経済成長にプラスの貢献をしました。特に卸売・小売、運輸・倉庫、金融・銀行・保険、宿泊・飲食が顕著に伸びています。2024 年上半期のベトナムへの海外からの訪問者は 880 万人以上に達し、前年同期比 58.4%増、新型コロナ流行前年の 2019 年同期比 4.1%増となりました。

暫定値となりますが、2024 年上半期の輸出総額は 1,900 億 8,000 万米ドル（前年同期比 14.5%増）、輸入総額は 1,784 億 5,000 万米ドル（同 17.0%増）で、116 億 3,000 万米ドルの貿易黒字（前年同期は 134 億 4,000 万米ドルの貿易黒字）となっています。輸出品のうち工業加工製品のグループが 87.7%を占め、輸入品のうち生産資材グループが 94%を占めています。最大の輸出市場は米国で輸出額は 543 億米ドル、最大の輸入市場は中国で輸入額は 670 億米ドルでした。

2024 年 1 月 1 日～6 月 20 日までの統計によると、ベトナム全国での FDI（外国直接投資）の新規登録、資本調整、出資・株式購入の総額は約 152 億米ドルとなり、前年同期比 13.1%増となりました。特に新規案件数が 1,538 件（同 18.9%増）、登録資本額約 95 億 4,000 万ドル（同 46.9%増）と大幅に伸びました。投資額を業界別でみると、トップが製造加工業で FDI 登録資本総額の 70.4%を占め、続いて不動産業が 16.3%を占めています。また、投資額を国別でみると 1 位シンガポール（55 億 8,000 万米ドル、前年同期比 86%増）、2 位日本（17 億 3,000 万ドル、同 21.6%減）、続いて香港、韓国、中国、台湾となっています。

ベトナム政府が 2024 年の CPI 平均上昇率を 4.0～4.5%以内に設定しているなかで、2024 年上半期の CPI 平均上昇率は 4.08%に抑制されました。ただし、7 月 1 日に公務員給与が 30%引き上げられたことや原料、燃料の高騰によるインフレが懸念されており、政府は引き続き物価監視を強化する方向です。

専門家によると、2024 年上半期で評価できる点は政府による公共投資促進が実施されていること、そして懸念点は国内外消費の伸びが依然として控えめであることです。経済の回復が遅く弱いために仕事と収入が依然として影響を受けていることの現れであり、本当の回復にはまだ時間が必要とされています。

大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク

株式会社 NC ネットワーク (ベトナム: NC Network Vietnam JSC.)

日本事務所：東京都台東区東上野 1 丁目 1 4 番 5 号 ユーエムビル 8 階

ベトナム事務所：8, No.5 Street, Him Lam, Tan Hung Ward, District 7, Ho Chi Minh, VIET NAM